

平成 29年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「大田原市両郷地区」

第2回活動報告 H29・12・10(日)

平成 29 年度第 2 回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が 12 月 10 日、大田原市両郷地区で開かれ、宇都宮大学の学生が園芸ハウス内の管理作業や手づくりピザ焼き体験などを行いました。

今回参加したのは、宇都宮大学のボランティアサークル「さとびと」の学生 12 名（農学部 1～4 年生）で、活動を受け入れたのは、同所中野内のガーデンハウス「3びきの子ぶた」農村体験ばあちゃんの会（代表・益子鐵雄氏、会員 6 名）です。

益子氏宅の庭で開会式を終えた学生たちは、近くのイチゴハウスに移動し、イチゴ苗ランナーのピン抜き作業を行いました。中腰の体勢で指先を使った細かい作業でしたが、学生たちは地元の人たちとイチゴの話などをしながら作業をすすめ、「自分たちだけでは何日もかかる作業を終らせてもらって大助かりです」と感謝されていました。

昼食時には、手づくりのピザ窯でピザを焼いて食べたほか、地元のばあちゃんの会会員手づくりの山菜おこわやけんちん汁、自家製こんにゃくや大根の漬物などが振る舞われ、おいしさにみんな舌鼓を打っていました。また、地元の人が野菜の花当てクイズなどを行い、学生たちと交流を深めていました。

学生たちは、「大変な作業の積み重ねでおいしいイチゴができることを知った」「地元の方々と交流ができて大変充実した時間を過ごせた」などと感想を語っていました。



▲宇都宮大学の学生たち ▲ばあちゃんの会会員



地元の人から作業手順を教わって作業開始、中腰でピンを抜く作業は結構大変でした



ハウスの手前と向こう側からと作業を進め、中央で両者が合流するにはまだまだ時間が・・・



午後の作業は、1棟のハウスに多くの人員が入ったため、お互い話をしながらにぎやかに作業が進められました



お昼には手づくり窯でのピザ焼きを楽しみました



ばあちゃんの会会員手づくりの昼食に「おいしい」を連発



山菜おこわやけんちゃん汁、手づくりこんにゃく



「この花は何？」野菜の花当てクイズに挑戦